

第3会場 本館 5F「コンコードB」

パネルディスカッション 3

9:00~11:30 一治療適応；内科・外科の立場から一炎症性腸疾患 UC

司会 高山 哲治（徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学）
石原聡一郎（東京大学医学部腫瘍外科）

- PD3-1 難治性潰瘍性大腸炎に対して外科手術を行った症例検討
滋賀医科大学光学医療診療部 今井 隆行
- PD3-2 抗 TNFα 抗体製剤 LOR 後の生物学的製剤の選択
名古屋大学医学部附属病院光学医療診療部 澤田つな騎
- PD3-3 潰瘍性大腸炎における Vedolizumab 投与 6 週後の臨床的有効性は 24 週後の内視鏡寛解を予測する
杏林大学医学部消化器内科学 齋藤 大祐
- PD3-4 潰瘍性大腸炎の手術症例における術前内科的治療に関する検討
帝京大学外科 金子 建介
- PD3-5 当科における潰瘍性大腸炎手術例の臨床的特徴、手術成績の変遷
三重大学消化管・小児外科 大北 喜基
- PD3-6 大腸癌を合併した潰瘍性大腸炎の診療とその問題点
福岡大学病院 長野 秀紀
- PD3-7 生物学的製剤時代における潰瘍性大腸炎緊急手術症例の検討
兵庫医科大学消化器外科学講座炎症性腸疾患外科 桑原 隆一
- PD3-8 潰瘍性大腸炎に対するサーベイランス内視鏡検査の有用性と課題
東京大学腫瘍外科 安西 紘幸
- PD3-9 難治性潰瘍性大腸炎の治療抵抗性因子に関する検討
札幌医科大学医学部消化器内科学講座 風間 友江

パネルディスカッション 4

13:20~15:50 一治療適応；内科・外科の立場から一炎症性腸疾患 クローン

司会 安藤 朗（滋賀医科大学消化器内科）
水島 恒和（大阪警察病院消化器外科）

- PD4-1 クローン病 IFX 維持療法中の効果減弱例に於ける薬物動態と治療戦略に関する臨床的検討
大阪医科薬科大学内科学第 II 教室 碓山 直邦
- PD4-2 実臨床におけるクローン病に対するウステキヌマブの使用成績
浜松医科大学医学部附属病院光学医療診療部 田村 智
- PD4-3 当院におけるクローン病でのベドリツマブの有効性と安全性の検討
兵庫医科大学病院炎症性腸疾患センター内科 上小鶴孝二

第3会場 本館 5F「コンコードB」

- PD4-4 QOL向上を目指したIBDセンター内科医と大腸外科医とのコラボレーション
北里大学北里研究所病院外科 落合 大樹
- PD4-5 バイオ時代のクローン病手術症例の現状
兵庫医科大学炎症性腸疾患外科 池内 浩基
- PD4-6 クローン病再発症例に対する腹腔鏡手術
大阪大学大学院医学系研究科消化器外科、大阪大学大学院医学系研究科炎症性腸疾患治療学
荻野 崇之
- PD4-7 内科医と外科医との情報共有がクローン病に対する治療に必要である
福岡山王病院消化器病センター炎症性腸疾患科、久留米大学医学部外科学講座 衣笠 哲史
- PD4-8 当院クローン病患者の手術後経過と内視鏡的拡張術後経過
滋賀医科大学消化器内科 高橋憲一郎
- PD4-9 クローン病における小腸大腸癌症例の臨床像
福岡大学筑紫病院外科 東 大二郎
- PD4-10 肛門部瘻孔を有するクローン病症例に対する長期治療成績
生駒胃腸科肛門科診療所、健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター 増田 勉
- PD4-11 Bio-naive の肛門クローン病症例に対して ustekinumab は有効である
増子記念病院 IBD センター、三枝クリニック 三枝 直人

一般演題 8

16:00~16:42 食道胃

司 会 久保田啓介 (JCHO東京山手メディカルセンター消化器外科)

- O8-1 早期食道癌 ESD 後 20 日目に遅発穿孔を発症した 1 例
大阪医科薬科大学第 2 内科 岩坪 太郎
- O8-2 家族性大腸腺腫症に発症した胃型腺腫の EMR 後再発に対して NEWS を行った 1 例
浜松医科大学第一内科 草間 大輔
- O8-3 胃粘膜下に完全迷入した魚骨を内視鏡的粘膜下層剥離術を応用して摘出し得た 1 例
鳥取生協病院消化器内科 森田 照美
- O8-4 胃黄色腫領域に発生した IIb 型早期胃癌の 1 例
唐津赤十字病院内科 藤邑勇太郎
- O8-5 興味深い発生源、転移形式が示唆された皮膚転移を伴う粘膜下腫瘍様胃癌の 1 例
高松市立みんなの病院消化器内科 田中 育太
- O8-6 生検にて多発性胃底腺型胃癌が疑われ *H. pylori* 除菌後 7 年間経過を追跡し得ている超高齢者の 1 例
みやぎ県南中核病院・消化器科 阿曾沼 祥